

記載内容は変更されることがあります。

科目名	電気エネルギー工学	英語科目名	Electrical Energy Engineering
開講年度・学期	平成 26 年度・前期	対象学科・専攻・学年	専攻科
授業形態	講義	必修 or 選択	選択
単位数	2 単位	単位種類	学修単位 (15 + 30) h
担当教員	甲斐隆章	居室 (もしくは所属)	電気・物質棟 1F
電話	内線 229	E-mail	kaiser@小山高専ドメイン
授業の到達目標	授業到達目標との対応		
	小山高専の教育方針	学習・教育到達目標 (JABEE)	JABEE 基準
1. 世界、日本のエネルギー資源・消費事情について説明できること。	①	D	a, b, g
2. 電気エネルギーの発生・輸送について説明できること。	①	D	a, b, g
3. 電気エネルギーの利用・応用について説明できること。	①	D	a, b, g
4. エネルギーの有効利用と環境保全について説明できること。	①	D	a, b, g
各到達目標に対する達成度の具体的な評価方法			
到達目標 1～4 : 課題に対して 20%、定期試験に対して 80%で評価し、合わせて 60 % 以上の成績で達成とする。			
評価方法			
課題(レポート)に対して 20%、定期試験に対して 80%で評価する。			
授業内容	授業内容に対する自学自習項目		自学自習時間
1 章 エネルギー資源とエネルギーシステム ・人類とエネルギー・エネルギーシステム	エネルギー資源・システムについて復習する。提示課題に対して次週までに提出する (以下同様)。		4
2 章 電気エネルギーの基礎 ・直流・交流回路・交流電力システムの表示	電気エネルギーの基礎について復習する。		4
3 章 電力システムと電気機器 ・電力システムの構成・送電線路の性質	電力システムと電気機器について復習する。		4
4 章 従来の発電システム ・火力発電・原子力発電・水力発電	従来の発電システムについて復習する。		4
5 章 新発電方式と分散形電源 ・新発電方式・太陽光電池	新発電方式と分散形電源について復習する。		4
5 章 新発電方式と分散形電源 ・風力発電・電力貯蔵用新形二次電池など	新発電方式と分散形電源について復習する。		4
6 章 電力輸送システム ・送電線路と送電特性	電力輸送システムについて復習する。		4
6 章 電力輸送システム ・電力輸送システムの保護と継電方式 ・配電システム	電力輸送システムについて復習する。		4
7 章 電力輸送システム ・安定性の原理と対策 ・電力輸送の制御	電力輸送システムについて復習する。		4
8 章 パワーエレクトロニクスの基礎	パワーエレクトロニクスの基礎について復習する。		4
9 章 パワーエレクトロニクスの応用	パワーエレクトロニクスの応用について復習する。		4
1 3 章 エネルギーの有効利用	エネルギーの有効利用について復習する。		4
1 4 章 エネルギーと環境 ・エネルギー消費と環境保全 ・電気エネルギーと地球環境温暖化	エネルギーと環境について復習する。		4
1 4 章・二酸化炭素以外の地球温暖化ガス ・電気技術を用いた環境保全技術	エネルギーと環境について復習する。		4
定期試験			
自学自習時間合計			60
キーワード	エネルギー資源と消費・有効利用、環境保全、電気エネルギーの発生・輸送・利用		
教科書	原雅則 著「電気エネルギー工学通論」(オーム社)		
参考書	江間敏、甲斐隆章 共著「電力工学」(コロナ社)		
カリキュラム中の位置づけ			
前年度までの関連科目	電力システム工学、電気機器工学		
現学年の関連科目			
次年度以降の関連科目			
連絡事項			
シラバス作成年月日	平成 26 年 2 月 27 日		